

# 鉾屋町 町内会だより

## 大慈寺小学校 地域学習会

大慈寺小学校教職員の皆さんの地域学習会が、5月17日に行われたので伺ってきました。

コロナ禍で児童が地域学習を自由に行えないため、教職員で地域を理解し児童に伝えられるようにと計画されたそうです。

大慈寺小学校みつわりホールに集合すると、私以外にも盛岡タイムスの記者さんが取材に訪れていました。

講師は町内会顧問の大坊公二さん。



不定期発行  
発行者  
鉾屋町町内会  
編集/文責/撮影  
桂 汎用工房  
脇田 桂一郎  
印刷  
小松総合印刷  
株式会社

あいさつが終わると、外に出て地域のガイドが始まります。



大慈寺山門の横にある稲荷大明神の下辺りから大慈清水の源流が湧き出ていたとか。



青龍水の由来や周囲の水路の話など。



鉾屋町の通りに出て、町家サロンピッピ、大慈清水御休み処も見学しました。



大慈清水に着いたあたりで時間が残り少なくなってきました。教職員の方々も忙しい中、予定を組んでいるので急ぎます。大坊さんがまとめた資料を提示しながら、補足の説明を行います。



様々な事柄を大坊さんは淀みなく話します。短いながらも、密度の濃い時間でした。



### 6月6日 春の清掃

私は清掃が今回初めてなので、  
どのように行われるのか、よく  
分かっていませんでした、とり  
あえず集会場に向かいます。

予定の時間よりだいぶ早めに  
出たつもりだったのですが、すで  
に多くの方が十文字稲荷の清掃  
を行っていて、もう終わりそう  
です。



わかば公園に移動します。こ  
ちらは清掃というより雑草取り  
が主になっているようです。



町内のあちこちに清掃をする  
方が見られます。



やはり全体的に雑草取りが作  
業の大半を占めています。  
そういえば鉾屋町の道に、ゴ  
ミが落ちてゐるのをあまり見たこ  
とがありません。それはそれで  
素晴らしいことだと思えます。

## 端午の節句の 座敷幟



町家サロンピッピに五月人形  
を見に伺いました。

その中にちよつと不思議なものを見つけてきました。座敷飾りの一種で、旗とか纏のようなものが立っています。台座には縁起のいい生物、亀、狒々?、龍、鶴、登り鯉の木彫が施されています。吉田 政弘さんによると、日本ではもう作っている方がいないかもしれないとのこと。

気になったので調べてみました。

これらは「座敷幟ざしきのぼり」といって、

端午の節句の飾り物だそうです。

左右の旗は「長幟ながのぼり」で上の線

2本が「二引にびき」、下に波に千鳥

の文様が入り、中に家紋が入れられています。自らの陣地を示

す役割などがあります。

中央の旗が「鍾馗幟しょうきのおぼり」。鍾馗

様は疫病除けの神様であり、厄除けの意味があるそうです。

旗の間に2本立っている白いも

のが「毛槍」。先を鳥の羽で飾った槍で、大名行列の先頭などで

使われるものです。

短いものは左から「立傘」。大

きめの雨傘を布袋に入れたもの。これも大名行列のとき供の

者が持ち歩いたとのこと。

次が「十文字槍」。刃が三方向に伸びていて十字の形になっ



た槍です。

隣の金色の纏のようなものが

「千成瓢箪せんなりひょうたん」です。豊臣秀吉の

「馬印うまじるし」であり、馬印とは武将

の所在を示す目印でした。

最後の右側のは「台笠」で、

被り笠を袋に入れたもの。立傘

と同じような役割がありました。

昔は屋敷の外に本物の槍など

を飾っていたそうですが、江戸

中期から次第に内部に飾るよう

になり、小型化していったそう

です。

子どもの成長と健康を祈る、

多くのものが凝縮された不思議

な美しさを感じました。



# 北上川での 舟運りハーサル

北上川の明治橋上流と開運橋上流に舟着場が整備され、6月19日には「北上川に舟つ子を運航する盛岡の会」により「開港祭」が行われます。それに先立って、舟の運航りハーサルがあると聞き、取材に伺ってみました。



現地に着くと、関係者の中に知り合いの方が何名かいらつしやつて、いつの間にかお手伝いをするに。私は「写真係」を拝命することになりました。そのかわり取材し放題です。

完成したばかりの舟着場から水面に降ろされる「もりおか丸」。



藩政時代に北上川で舟運に使われていた「平舟」の構造を再現しつつ、小型化した舟です。



関係者を乗せ、北上川を走り出します。後部に船外機を付けていますので、上流側にも自由に動けます。



気がつくとも周りには大勢のギヤラリーが。



私も少しだけ乗せていただきました。川沿いの遊歩道を歩くのが好きなので、風景に極端な驚きはなかったのですが、水面を移動していく感覚は、とても面白いものでした。

## 編集後記

5月の半ばに、生まれて初めて「田植え」を体験しました。担当したのは苗を運んで、田植え機に積む係です。四角いパレット状のマット苗は1枚5〜6kgあり、実に大変な作業だと身をもって実感いたしました。(桂)

